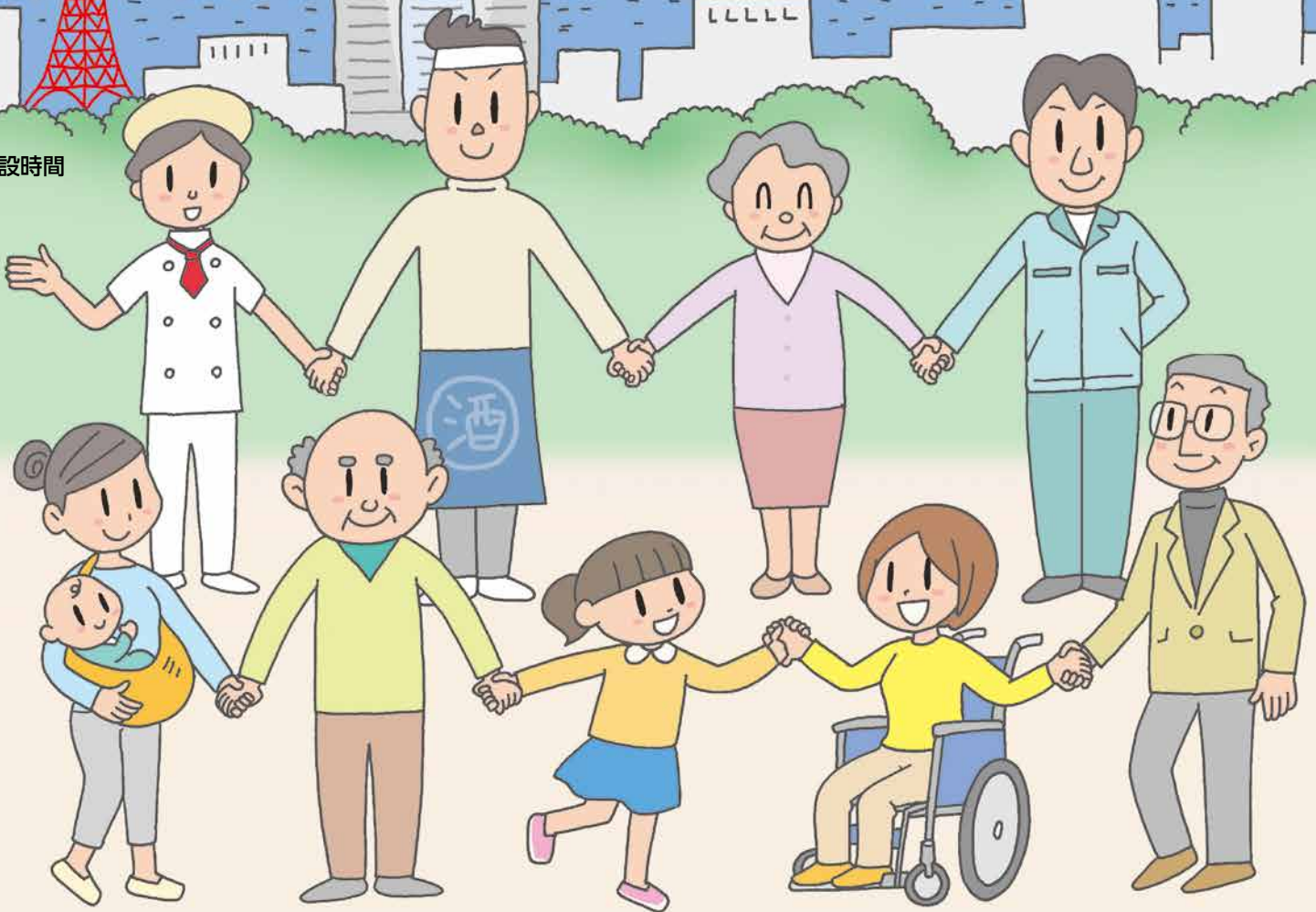




みんなの  
地域の

# 福祉活動

開設時間



気づき、つながり、支えあう

社会福祉法人 港区社会福祉協議会



## 目次

- 港区社会福祉協議会とは
- 小地域福祉活動とは ..... 4
- 3つの始め方 ..... 6
  - ・活動その①「サロン活動」..... 6
  - ・活動その②「声かけ見まもり活動」 ..... 8
  - ・活動その③「みんなの会議」  
(小地域福祉活動協議会) ..... 10
- 支援・助成内容/登録にあたっての注意事項 ... 12
- Q&A ..... 14
- 活動開始までのステップ ..... 15

**みんなで支えあう地域  
ふれあいのあるまちをつくりましょう!**



## 港区社会福祉協議会とは

社会福祉協議会とは、社会福祉法第109条に基づき設置された社会福祉法人です。地域をよくするしくみづくり、地域の活動だけでは解決できないことを専門機関につなげる連携づくり、地域の中で困っている人に気づける人材育成など、住民のみなさんとともに進め、地域福祉活動を支援しています。

### 法人理念

みんなとともに「つながり・支えあうまち」をつくるため、私たちは行動します。

### 行動指針

港区は、高層マンションや昔ながらの住宅地、地域密着型の商店街や多くの人が訪れる商業地、企業や大使館が多数あるなど、さまざまな地域特性を有しています。

また、子育て世代や一人暮らし高齢者等の人口の増加に伴い、地域における福祉課題も多様化しています。

このような中、誰もが安心していきいきと暮らすことができる地域社会をつくるためには、共助・互助の醸成が重要です。

港区社会福祉協議会は、港区に住み、働き、学ぶみなさんと共に、一人ひとりの自己決定を尊重し、地域の身近な存在として「つながり・支えあうまち」をつくるため、4つの指針を掲げ、行動します。

- ① 私たちは、地域の福祉課題を解決するための話し合いや学び合う場をつくり、地域の福祉力を高めます。
- ② 私たちは、住民や団体、企業、関係機関と連携・協働し、地域福祉を推進する活動を広げます。
- ③ 私たちは、地域の実情にあった事業や活動を提案し、積極的に取り組むことで地域福祉の基盤をつくります。
- ④ 私たちは、共感力・発想力・創造力を豊かにし、一体となって地域福祉の推進に取り組みます。

平成27年10月1日制定





## 小地域福祉活動ってなんですか？

住民にとって、身近でなじみのある地域で、その**地域の福祉課題**に対して、住民自身が主体的に、**自分たちができる**ことで協力し、行政などとも連携して解決しようとする**取り組み**のことを「小地域福祉活動」といいます。



わたしたちは小地域福祉活動のことを  
身近な地域で 身近な気になることを  
身近なみんなと 身近な活動でつないでいく

### みんなと地域の福祉活動

と呼んでいます。

## 地域の福祉課題って… なんだかむずかしいんじゃないの？

地域にはたくさんの人たちが暮らしています。若い人も高齢者も、障害のある人もない人も、ひとり暮らしの人も、子育て中の人も、自営業の人も、会社員も…。

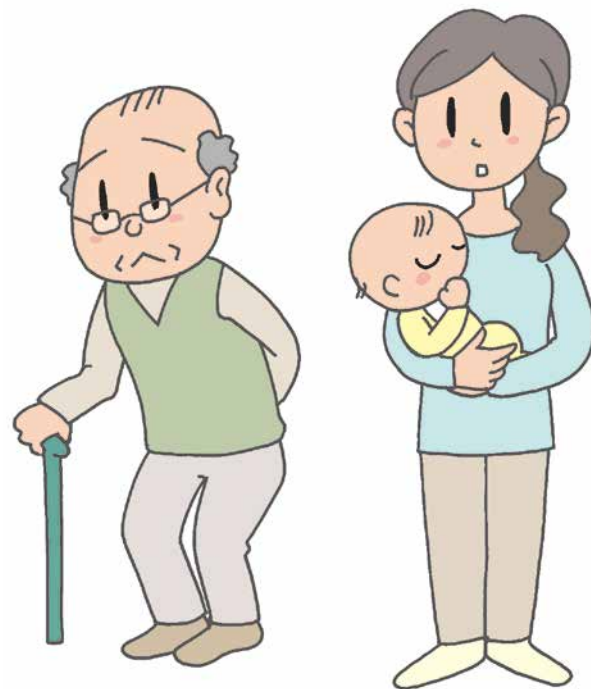
多くの人たちが隣人との関係を大切にし、身近で支え合っています。それでも、「ちょっと気になること」や「私にもできることはないかなあ」と感じていることがあるのではないのでしょうか。

「福祉」という言葉を辞書で調べると「しあわせ・幸福」と載っています。

### 地域の福祉課題とは

#### 地域のしあわせのためにちょっと気になること

こんな風に考えてみてください。



みんなと地域の  
福祉活動



## 小地域福祉活動って… なんで必要なんですか？

私たちの生活はたくさんのしくみや福祉、教育、子ども、警察、消防などの専門機関によって支えられています。

しかし、**社会環境が大きく変化**し、高齢社会、核家族化や単身世帯の増加、無縁社会、孤立死、電話等による詐欺や悪質な販売被害…さまざまな課題が表れてきています。地震や台風等自然災害発生時には、日頃からの**地域のつながりの重要性**を、多くの人が感じました。

身近な地域住民だから気づく、そこで生活する住民だからできる活動が大きな役割を果たして、より強く、より柔軟に、地域の福祉力が向上する取り組みが必要となっているのです。

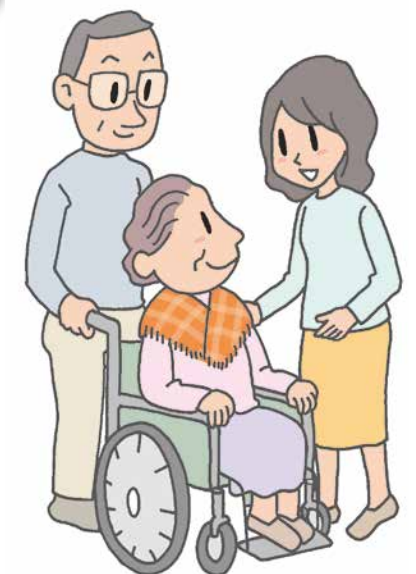


## 地域住民だけで 取り組まなければならないの？

地域住民だからこそできる活動には、さまざまな効果が期待できます。しかし、限界があるのも事実です。すべてを小地域福祉活動で解決することはできません。

小地域福祉活動は、地域住民の活動と、公的機関や専門機関が**連携・協力**して行うことが重要です。

地域でできることは地域で活動し、必要な時には公的制度で対応したり、専門機関が支援したり連携・協力して取り組むことがとても大切です。





# サロン活動



身近な地域で閉じこもりがちな人を対象に、サロン活動を通じてつながりづくりを進め、社会的孤立を防止する活動です。

特定の趣味活動やサークル活動ではなく、誰もが気軽に定期的に集まれる場をつくり、閉じこもりがちな人に声をかけます。

つながりができてお互いを少し気にかけてくれる関係づくりが、ちょっとした変化にも気づき、必要な時の福祉サービスなどの利用や専門機関への相談に役立ちます。

子育て中の親などが、育児に関する悩みや不安を共有できる仲間をつくる活動も同様に対象としています。

**地域組織等** 町会・自治会、集合住宅管理組合等

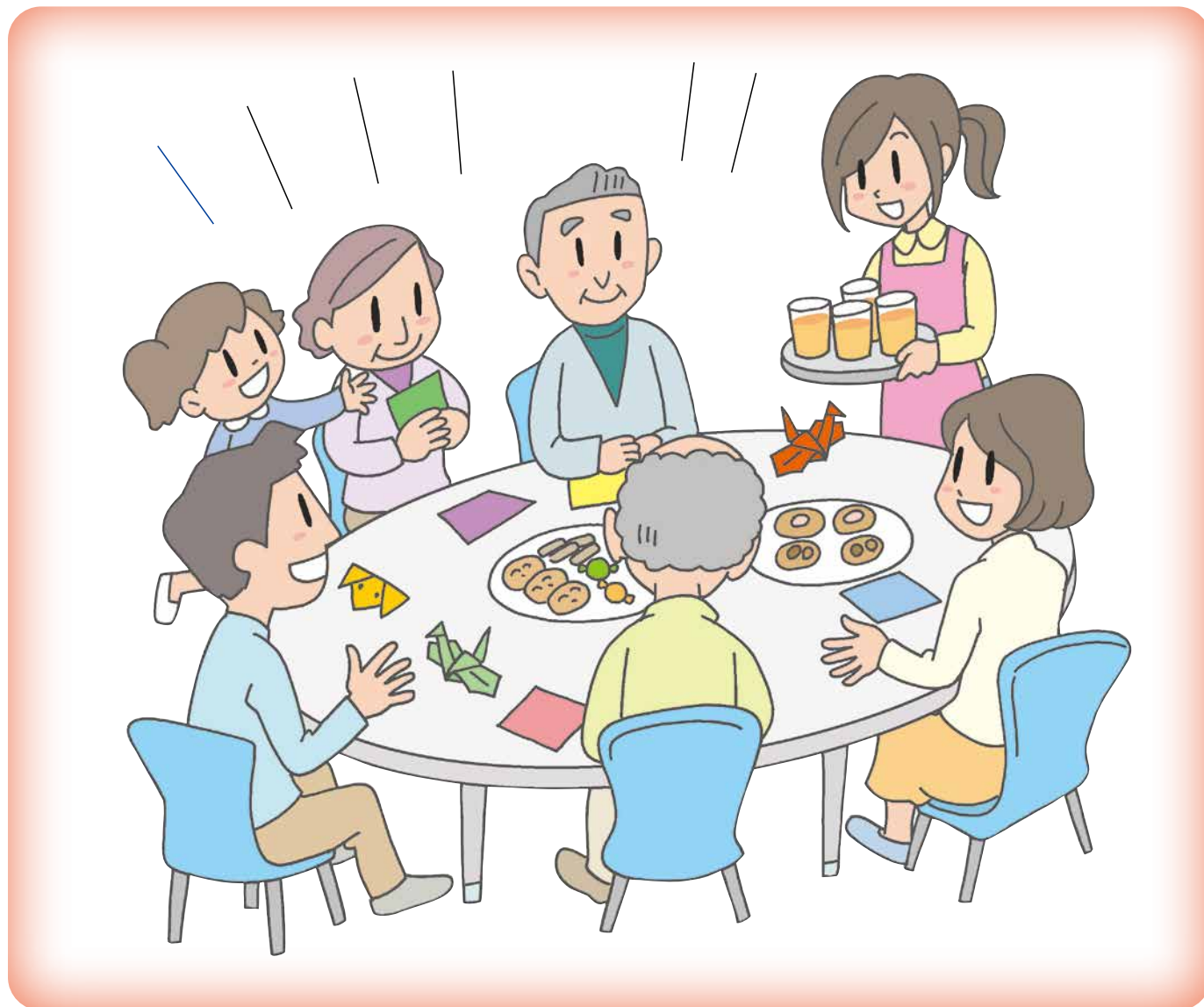
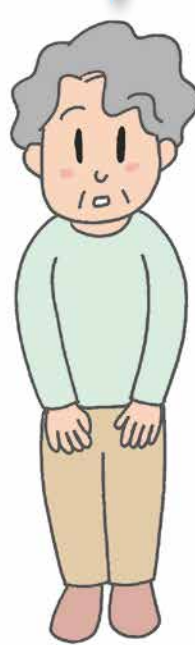
**地域グループ** 地域組織等以外の地域の任意グループ

外に出る機会も減って、誰とも会わないで過ごす日も増えたわ

うちの町会も気軽に集まれる機会があるといいんだけどな...

同じくらいの子どもがいるママたちと知り合う機会もないし、情報交換ができるといいな

うちのマンション高齢者も増えて来だし、日頃から気軽に行ける集まりがあるといいな...



## ここがポイント

定期的に人が集まる機会を作ることは、つながりづくりの第一歩。つながりづくりをきっかけに、閉じこもりや孤立の防止、いろいろな情報を伝え合うことで防災・防犯活動、体調変化の時の福祉サービスなどの利用にもつながります。

最初は断られるかもしれませんが、ちょっとした声かけを続けて、気にかけてほしいあの人を誘って、ゆっくりとつながりづくりをしていきましょう。

まずは、簡単にお茶とお菓子を用意して集まってみましょう。プログラムを用意しなくても、みんなで集まると自然と会話が生まれます。集まって話をするを活動の中心にしながら、時々別のことを取り入れてもいいかもしれません。

また、1年に何度か専門機関の人の話を聞く機会を作ることで、その機関や職員とつながりを持つことができます。

子育て世代などのサロン活動も、地域の町会や自治会と連携してみると、多世代交流の機会にもなります。年に何回か、世代を超えた交流の機会をサロン活動につなげてみると、地域の将来を支えることにつながるかもしれません。



# 声かけ見まもり活動



地域に住んでいる人たちが、地域にあった方法を工夫して、ゆるやかに声かけ見まもりことによって、普段から顔の見える関係をつくりご近所の関係を広げていきます。

## 地域組織等 町会・自治会、集合住宅管理組合等

サロン活動を通じて知り合った人に、サロンのない日に電話や訪問などを行い、サロン活動に見まもり効果をプラスします。

また、サロンに来られなくなった人に対しても同様に電話や訪問などを行うことで、今までの関わりやつながりを生かし、見まもります。

## 地域グループ 地域組織等以外の地域の任意グループ

近隣の人のおちょっとした変化や異変に気づきやすく、社会的孤立の防止や防災・防犯等に役立ち、互いに気にかけてあえる地域づくりをめざしていきます。

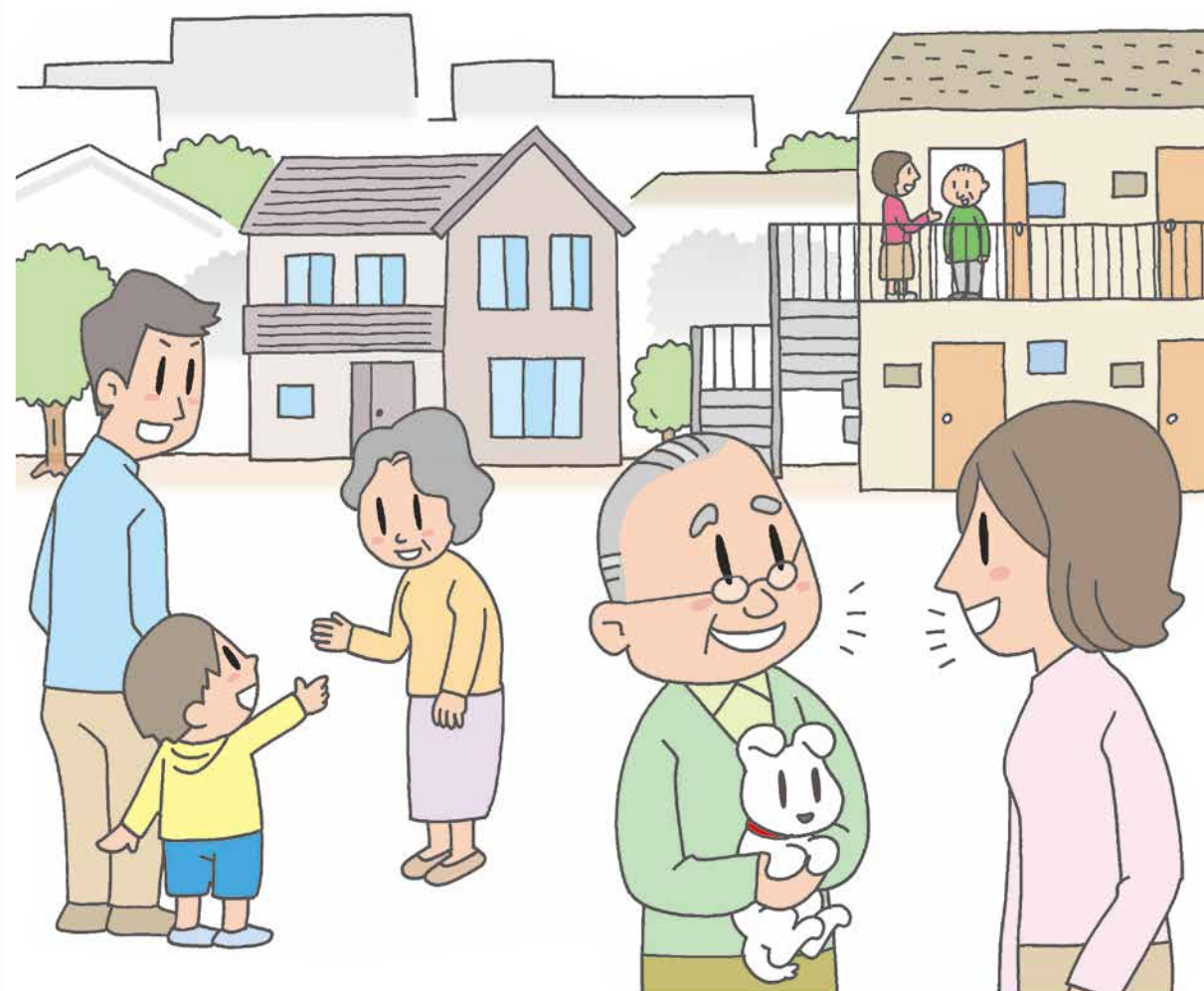
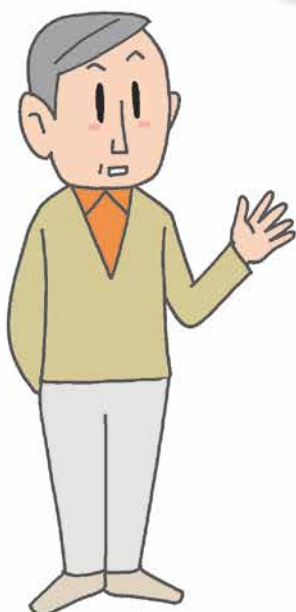
いつも買い物に来ていたおばあちゃん。最近見なくなったな。どうしているのか心配だな

普段から近所の人とあいさつができた関係だと安心だね...

日常のつながりが防災、防犯にも役立つって聞いたぞ

サロンに参加していた〇〇さん。来られなくなって、会う機会も減ったわね。元気がどうか気になるわ...

サロン活動がない日に様子をすることもいいかもしれないわ



## ここがポイント

最初は、あいさつすることから始めてみましょう。普段の生活の中で、ちょっと気になる人に声をかけることがポイントです。

地域組織等で活動をはじめの場合は、地域の状況に合わせて工夫していくことが大切です。地域のイベントのチラシや、お知らせなどを持って訪問するのも良いですね。

サロンに来られなくなった人を訪問したり、周りとおちょっと距離のある人にも声をかけたりしていくことで、お互いに気にかけてあえる関係づくりにつながっていきます。地域でたくさんあいさつが交わされる街は、防犯にも効果があるといわれています。

無理せず、焦らず、ゆっくり、ゆるやかに進めていきましょう。



# みんなの会議



(小地域福祉活動協議会)

町会・自治会、集合住宅管理組合等に福祉部や福祉委員会などの組織を位置付けます。地域のことをみんなで話し合い、ちょっと気になる福祉課題に、地域でできる活動で取り組みます。

活動の前にみんなで考えたり、学んだりするところから始めたい、交流イベントを通じてサロン活動や声かけ見まもり活動につなげたい、いろいろな組み合わせも可能です。

専門機関とも連携して、地域のつながりづくりを進め、地域の福祉力の向上を目指します。

## 地域組織等 町会・自治会、集合住宅管理組合等

毎月難しいけど、みんなが集まれるサロンを試してみようかな

若い人たちも増えたわね。同じ地域に住むから交流したいわ

住んでいる地域には、どんな福祉の課題があるのかな

世代を超えたイベントで、昔遊びなら協力できるよ

この問題…みんなはどう思っているんだろう…。地域で意見交換するところから始めたいな



## ここがポイント

みんなの会議は、地域の福祉活動企画会議です。「企画会議なんて…わからない」と難しく考える必要はありません。まずは、地域でどんなことが気になるか、どんな活動を試みようか、みんなで意見交換してみよう。活動は地域の状況や地域のペースで進めることができます。専門機関と連携して町会・自治会、集合住宅管理組合等の中で、できることを、できる人たちと一緒に進めていきましょう。

- 月1回のサロン活動は難しい → **年数回企画して開催してみよう**
- 自分たちの地域にあった活動ってどんなことがあるのかしら → **他の地域の事例を聞いてみよう**
- 専門機関とつながりを持ちたい → **専門機関に来てもらい話を聞こう**

# 支援内容

活動を始めてみたい人から、活動をしている人までしっかりとサポートします。

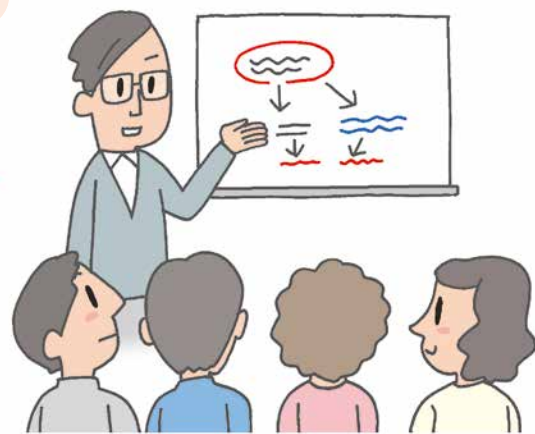
## ①活動を始める前は

- 必要な情報の提供や立ち上げ支援
  - ・ 運営に関する情報提供
  - ・ 他地区の活動情報の提供
  - ・ 活動見学
- 入門講座を開催



## ②活動を始めてからは

- 活動に関する相談支援
- 行政や専門機関への橋渡し
- 活動費用の助成（要登録）
- 傷害保険の加入（要登録）
- 活動を理解し活動に活かす講習・講座を開催
- 活動者同士の情報交換会を開催



## ③活動をさまざまな人へ知らせるために

- ホームページによる活動紹介発行
- 広報紙「みなと社協」への紹介記事掲載
- サロン一覧の作成
- 港区高齢者地域活動情報サイト「スタみな！」への掲載

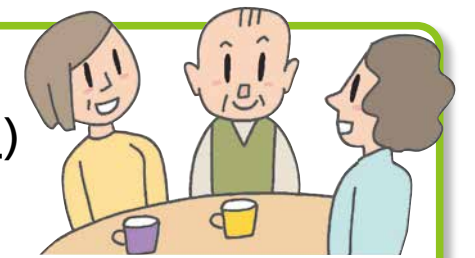


その他にも社協のコーディネーターが出向いて支援しています

# 活動助成の内容

## ①サロン活動

月に1回以上の活動を実施（年12回以上）  
1回の活動2,000円（上限35,000円）  
登録初年度のみ「活動立上げ支援助成」10,000円



## ②声かけ見まもり活動

月に3回程度の活動を実施（年32回以上）  
地域組織等→20,000～65,000円（人数区分に応じ）  
地域グループ→20,000円



## ③みんなの会議

定期的な打ち合わせや活動を実施  
30,000円  
※地域組織等を対象とした活動です



## 登録にあたっての注意事項

- 原則、地域内の誰もが参加できるものであること
- サロンの活動内容は特定の趣味や知識、技術の向上が目的ではないこと
- サロンの参加費等を徴収する場合は低額であること
- 活動参加者等のおおむね8割以上が港区民であること（名簿提出）
- 活動を実施する場所の正式な使用許可・使用料の支払いなど適切な処理を行うこと
- 違法、不当、不適切な行為など、公序良俗に反する行為を行わないこと
- 政治政党活動、宗教活動、販売勧誘等営利活動は行わないこととし、それらの誤解を受ける活動も行わないこと
- 個人情報やプライバシー保護について適切に配慮し、活動等を通じて知り得た秘密等は他へ漏らさないこととし、活動等を離れた後も同様とすること
- 活動に関係して生じるトラブルは当事者間で解決すること
- 活動の運営等は、小地域福祉活動の趣旨に沿って活動参加者等が協力して行うこと



## その質問に お答えします。



地域の福祉って…  
何からはじめればいいのか？

まずは、地域の福祉課題を知ることからはじめてみませんか。地域の人々と意見交換すると、今まで気づけなかったことも出てくるかもしれません。

課題にはすぐに解決できそうなもの、時間をかけて解決していくものなど様々です。社協では地域の人々と一緒に福祉課題を整理するところからお手伝いをしています。



誰か一人の負担が大きくなるか心配だわ…

活動はそれぞれができる役割を担ってもらいましょう。みんなで協力してお互い支え合うことが活動を長く続けていくコツです。

活動に悩んだ時には、参加者みんなで話し合うと意外な知識や特技を持っている人もいます。

運営・活動内容の悩み事は社協にいつでもご相談ください。



声をかけたけど断られてしまいました。どうしたら良いのでしょうか？

活動を進めていくなかで、人によってはあまり「関わって欲しくない」と思っている人もいます。無理して誘わずに、相手の気持ちを大切にすることも必要です。

そっと見まもり、さりげなく関わることで「困ったことがあったらいつでも相談してくださいね」というメッセージを発信しつつ、ゆっくりと関係を築いていきましょう。



地域で同じような活動をしています。登録はできますか？

社会的孤立の防止、地域の声かけ見まもり、町会・自治会等での地域福祉活動など、すでに同様の活動をしている人も登録できます。

まずは社協へお気軽にご相談ください。

「サロンのはじめ方ガイド」は  
こちら▼



地域の福祉活動では個人情報を集める必要はありますか？

地域の福祉活動を開始するのに、個人情報を集めなくても活動を開始することはできます。

活動はみなさんが気にかけている人を中心に、誘ったり、声をかけたりすることからはじめます。

登録時にはサロン活動用の保険のための名簿を提出することになりますが、どんな活動でも、知り得た個人の秘密はみだりに口外しない、名簿等の管理には細心の注意を払って紛失事故等が起こらないようにし、人と人の関係を大切にすることを心がけていくことが重要です。



# 活動開始までのステップ

みんなと地域の福祉活動「想い」が「活動」になるまで

## 1 地域のことが気になる

地域を気にする「想い」はあるけど、どうしたら良いのかな…



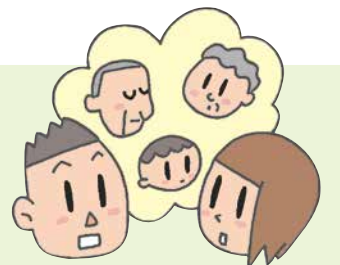
## 2 想いを共有すると…仲間ができる

気になっていることを、身近な仲間に共有してみると同じ想いを持つ人が出て来るかもしれません



## 3 どんなことができる!?

想いを共有できた人と、どんなことができるか、気になる人・心配な人は誰か思い浮かべてみましょう



## 4 活動開始!! そして連携…

活動はみんなで楽しく進めます。専門機関の人とも連携を図ります

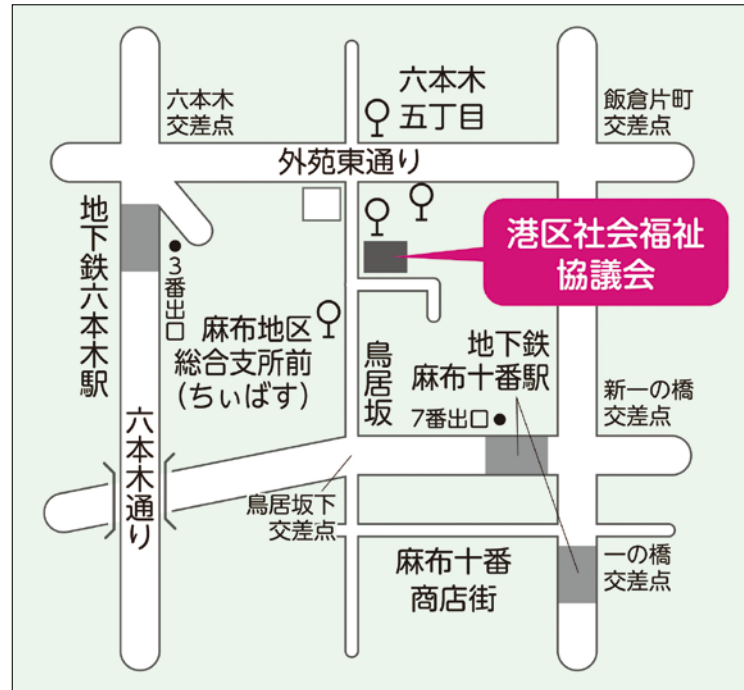


## 5 社協はいつも地域のそばにいます

活動をはじめる前から、はじめた後までみなさんのペースに合わせて支援します







#### 開設時間

月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(土日祝日・年末年始を除く)

#### 連絡先

社会福祉法人 港区社会福祉協議会  
 〒106-0032 港区六本木5-16-45 港区麻布地区総合支所2階  
 ホームページ <https://minato-cosw.net/>  
 地域福祉係  
 E-mail [chiiki@minato-cosw.net](mailto:chiiki@minato-cosw.net)  
 TEL.6230-0281 FAX.6230-0285



#### 交通機関

- ・東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」下車 3番出口 徒歩6分
- ・東京メトロ南北線・都営大江戸線「麻布十番駅」下車 7番出口 徒歩10分
- ・港区コミュニティバス(ちいばす)麻布東ルート・麻布西ルート・田町ルート「麻布地区総合支所前」下車



港社協マスコットキャラクター  
みしゃ

「みんなと地域の福祉活動」には、区民の皆様などからいただいた社協会費や寄付金、歳末たすけあい募金配分金などが活用されています。